

丸協にゆーす

- 祝・新入社員入社
- 丸協トピック
「社用車の点呼、幹部会実施」
- SDGsの取り組み
- 今、知っておきたい物流topics
『売上規模で店舗への出荷頻度見直し』



祝・新入社員、入社！

4月1日（金）に入学式が行われ、今年度は 丸協大阪3名、丸協愛媛2名の新入社員が入社いたしました。

新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと講じ、大阪・愛媛別にリモートという形で入社式を執り行いました。渡部智社長からの「誠実で真面目な人にはたとえ失敗したとしても周りが支えてくれる」というお話しがとても印象に残っている、とこれからの丸協運輸での仕事に皆さん意欲満々です。

入社式のあとは、現場見学や、ビジネスマナー研修、安全品質や、社会人としての責任などを学びました。



関西LC倉庫	為岡
東京営業所	岡前
関西LC営業	中窪
西条営業所	原野
西条営業所	星野



白ナンバー社用車の点呼実施スタート

令和4年3月1日より、丸協運輸では、『従業員の健康と安全を守る事を目的』として、社用車を保有する事業所は道路交通法施行規則で定められるアルコール探知機を使用した点呼を実施することとなりました。

これは、令和4年10月1日道路交通法施行規則の一部の改正、「アルコール検知器の使用に係る規定」の施行が決まり、この施行を待たず、先駆けての取り組みとなります。



各グループにて幹部会実施

令和4年3月～4月にかけて、各地グループごとに幹部会が行われました。新任管理職の方も多く、2022年度の目標、取り組み計画などを発表し、決意も新たに新年度のスタートを切っております。

中日本グループ幹部会では冒頭に渡部社長より、「顧客満足度・従業員満足度・環境満足度」の向上を進めていくことが会社の使命、それを管理職が中心となって取り組んでほしい、とのお話しがございました。

SDGsの取り組み



2022.4 丸協にゆーす

2021年度、丸協運輸としてもSDGsの取り組みを様々進めてきました。

2021年8月にはEVトラックを導入、またドライバーさん一人ひとりのエコ運転への取り組みによって1台あたりに二酸化炭素排出量(kgCO₂)は前年比 98.8% となりました。

皆さんが有給休暇5日以上取得でき、社内の働き方改革がより進んでいる結果も見られました。

また、請求書電子化を中心に、およそ70%のペーパーレス化ができた部署もありました。

従業員皆さんの働きやすい環境作り=SDGsの取り組みにもつながっていきます。2022年度も 環境満足度・従業員満足度の向上を目指して、SDGsの取り組みも加速させていきます。



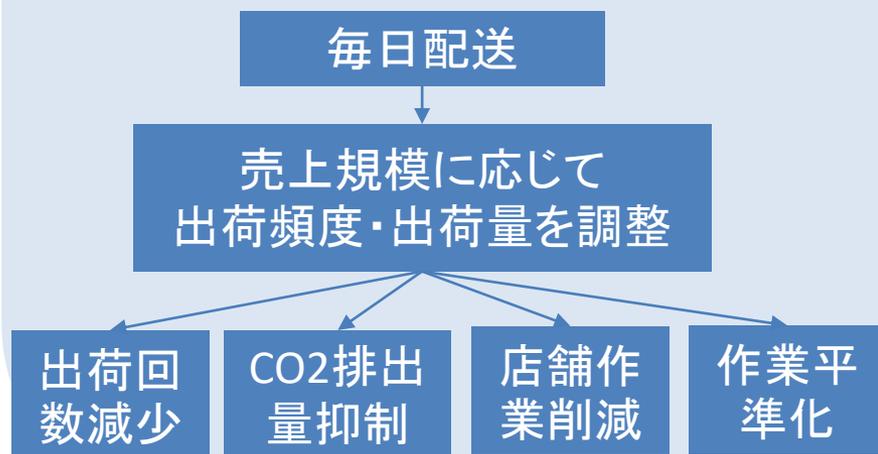
今、知っておきたい物流topics

売上規模で店舗への出荷頻度見直し

メガネの製造・販売を行っているジズ社では、店舗の売上規模に応じて店舗への商品出荷頻度と出荷量を調整することにしました。これにより配送によるCO2排出量を年間約15%削減でき、従業員の作業工数削減も見込めるとのことです。

現在、同社では、大阪、千葉の物流拠点から、全国451店舗（2022年3月末時点）へ向けて商品の配送を行っています。これまでは店頭での欠品リスク回避の観点から、全体の8割の店舗に対して毎日、配送が行われていましたが、新店ならば小規模店でも毎日配送が行われるなど、物流サービスレベルが高すぎる状態も発生していました。

売上規模ごとの出荷頻度・出荷量の最適化により、商品の出荷回数が約35%減少し、曜日ごとの出荷量の変動も抑えられるということです。



このような改善は荷主の物流コスト削減につながるとともに、物流事業者にとっても作業の平準化や残業時間・残業代の抑制にもつながります。

コストに関わる交渉のみでなく、顧客店舗の作業者の負荷軽減や残業代の観点、CO2排出量といった点からも改善に向けた動きにつながる可能性があるといえます。顧客の売上増・コストダウンに向けた支援はもちろんのこと、今後は**持続可能な物流体制の提供**も大事な視点といえます。